

第3回 薬剤師の在宅医療介入を考える会

—地域医療に根ざす薬剤師と連携体制は広がった？—

【日時】 平成31年2月2日(土) 13時45分～17時15分

【場所】 高山市民文化会館 3階 講堂

高山市昭和町1丁目188-1 TEL 0577-33-8333

【参加費】 無料 ※ただし、薬剤師のみ単位取得研修のため会員:500円、非会員:2,000円

【お問い合わせ】 須田病院 薬剤部 定岡邦夫 TEL 0577-72-2100

「多職種連携情報共有システム(バイタルリンク)について」

帝人ファーマ(株) 地域包括ケア事業推進部 伊藤 秀司朗 様

総合司会 岐阜県病院薬剤師会飛騨ブロック 会長 定岡 邦夫 先生

座長 須田病院 認知症疾患医療センター センター長 垣内 無一 先生

演題① (14:00～14:15)

「事例報告① ～在宅医療介入の実際～」

ひだ薬局 上気多店 薬剤師 下仲 保晶 先生

演題② (14:15～14:30)

「事例報告② ～認知症、統合失調症患者に関わって～」

高田サンキュー薬局 駅前店 薬剤師 高田 寛子 先生

演題③ (14:30～14:45)

「事例報告③ ～県境山間部の在宅医療介入の実際～」

なごみ薬局 薬剤師 渋谷 孝之 先生

演題④ (14:45～15:00)

「薬局薬剤師との連携の現状と課題」

須田病院居宅支援事業所 管理者 野中 康代 先生

演題⑤ (15:00～15:15)

「在宅療養者の再入院予防のための多職種連携」

ひだ訪問看護ステーション 主任看護師 田中 弘美 先生

演題⑥ (15:15～15:30)

「精神科訪問看護における薬剤管理の現状と薬剤師への期待」

須田病院訪問看護ステーション 看護師 長谷川 洋子先生

◆休憩 (15:30～15:45)

多職種による総合討論:ワールドカフェ方式(15:45～17:15)

ファシリテーター 須田病院 精神科医長 益田 大輔 先生

【テーマ】

「地域医療に根ざす薬剤師と連携体制は広がった？」

ゆう薬局 薬剤師 中田 裕介 先生

総括 高山市薬剤師会 会長 和仁 寿彦 先生

共催 岐阜県訪問看護ステーション連絡協議会飛騨ブロック, 岐阜県居宅介護支援協議会, 岐阜県病院薬剤師会
高山市薬剤師会, 下呂市薬剤師会, 飛騨市薬剤師会, 帝人ファーマ(株)

単位 日本病院薬学認定薬剤師制度:一般演題(Ⅲ-2)1単位, 総合討論(Ⅲ-2)1単位

日本薬剤師研修センター研修制度:2単位 JPALS研修コード:

第3回 薬剤師の在宅医療介入を考える会 参加申込書

ご施設名：

ご芳名記載欄

申し込み方法 : FAXにて受付

申し込み期限 : 平成31年**1月25日(金)**午後**1時**まで

お申し込み先 : 須田病院 薬剤部

F A X : 0577-72-4231

担当者 : 定岡 邦夫